

教育だより



授業が変わります!

～児童生徒用タブレット端末の整備～



練馬区教育委員会では、令和3年2月までに区内の小中学校に通うすべての児童生徒に、一人一台のタブレット端末を整備しました。
今回は、学校でのタブレット端末活用の一例を紹介します。

一人一人に応じた学び



インターネットを活用した調べ学習やプログラミング教育などが、いつでもどこでも行うことができます。

個別の取組を全体で共有



先生が作成した課題やアンケートを各児童生徒のタブレットに送信し、児童生徒が回答するとすぐにクラス全体で共有することができます。

これまで以上に、子供たちが自ら学び、友達と共に学びを深められるよう、引き続きタブレット端末を活用した実践を重ねていきます。

【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

令和2年度 中学3年生を対象としたバーチャル修学旅行 ～コロナ禍でも体験できる京都・奈良への旅～

練馬中学校



修学旅行は中止となりましたが、制約の中でも楽しい思い出づくりやリアルなICT技術が体験できるVR(仮想現実)旅行に行ってきました。このVR旅行は、練馬区立の全中学校で行われました。

体育館でのVR体験



教室でのVR体験



VR旅行の行先は、奈良公園や京都名物の保津川下り、伏見稻荷大社、嵐山トロッコ列車など7か所。VRグラス付きスマートフォンを上下左右に振れば、周囲360度のVR画像を見ることができます。東大寺大仏の手のひらに乗ったり、清水の舞台からのダイビングや保津川下りの和船に乗り、学年やクラスの友達と一緒にVRならではの体験ができました。

ARアルバム&未来レター20



お土産受け取り



体験終了後、記念のAR(拡張現実)アルバムや地元名産品のお土産をもらいました。他にも、未来の自分への手紙、未来レター20(はたち)を投函しました。

令和2年度は、修学旅行のみならず、運動会やプール、合唱コンクールや部活動まですべて自粛や中止になりました。そのような中、クラスを超えての集まりや集合写真は貴重な思い出となりました。

生徒からの「いつかきっと、友達と疑似体験した場所へ行ってみたい。」の言葉に、きっかけ作りの大切さを感じています。

【問合せ】保健給食課 少年自然の家係(電話5984-2441)



和牛肉が学校給食に登場しました! ~コロナ禍の中、給食の時間に子どもたちの笑顔を~



現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うインバウンド需要の減少や輸出の停滞等により、全国的に食肉の在庫が大幅に増加するなど深刻な影響が生じています。令和2年度、国では、学校給食等で和牛肉等の美味しさや魅力を伝えることを支援し、和牛肉等の消費拡大を図るため、費用負担なく和牛を学校給食に取り入れることができる「学校給食提供推進事業」が実施されました。

練馬区では、感染症拡大予防のため前を向いたまま無言で給食を食べている児童生徒に、食の楽しさを感じてもらいたいと、区立小中学校全98校で、令和3年1月から2月にかけて延べ約7,900kgの和牛を使用し、約16万食を提供しました。原価が高く給食で使用されることが少ない牛肉ですが、今回はサーロインを使用したステーキ、肩ロースを使用したビーフシチューなど、学校ごとに多彩な献立が用意され、普段味わえない給食に児童生徒から「おいしい!また食べたい!」と嬉しい声が聞かれました。また、和牛の特徴や部位・栄養価等、食材そのものへの興味を高めたり、食品トレーサビリティ*や食品ロスなど社会問題への関心を深めたりするなど、食べ物を大切にする心や生産者に対する感謝の心を育むきっかけとする、貴重な食育の機会となりました。

*食品トレーサビリティ:食品の移動を把握できること。各事業者が食品を取扱った際の記録を作成し保存しておくことで、食中毒など健康に影響を与える事故等が発生した際に、問題のある食品がどこから来たのかを調べ(追溯)することができます。(農水省HPより)

ステーキ

たまねぎとにんにくを合わせた和風ソースをかけ、おはしで食べるステーキ。下味にも同じソースを使用しており、和牛の甘味とよく合う。



牛丼

かつおの和風だしで旨みを閉じ込めたほどよい脂身の肩ロースと、甘く煮たたまねぎとの相性が抜群。



ビーフシチュー

サーロインを赤ワインで炒め、ブラウンルー、2種類のたまねぎ(飴色たまねぎ、食感を楽しむたまねぎ)、カラメルソース、生クリームで本格的な仕上がり。



サイコロステーキライス

塩コショウで味付けしたランプ肉のサイコロステーキと、にんにくの香りを移した油・バター・しょうゆを炒め合わせ、にんにくチップをトッピングしたライスが絶妙な一品。



【問合せ】保健給食課 学校給食係(電話5984-5736)

気づいていますか? 子どもの「疲れのサイン」

環境の変化は、疲れとして蓄積されます。蓄積された疲れは、五月病の症状を引き起こす恐れがあります。子どもの「疲れのサイン」に気づくことが大切です。



環境の変化と疲れについて

大人にとって、年度始めは人事異動や就職といった自身を取り巻く環境の変化が起こりやすい時期と言えます。子どもにとっても、入学や新学期のスタートといった環境の変化が大きい時期です。環境の変化はストレスになりやすく、疲れとして蓄積されています。5月の連休までに疲れが解消されないと、不調を訴えたり出勤や登校ができなくなったりといった、いわゆる五月病の症状を引き起こす恐れがあります。子どもは五月病の症状が現れにくいので「疲れのサイン」を見逃さないことが大切です。

この時期の子どもの主なストレス例



自覚がないままストレスが溜まる

疲れ



大人と子どもの疲れの違いって?

大人はストレスによる疲れを自覚しやすいですが、子どもは無自覚ことが多いとされています。

また、子どもは原因となるストレスに対処する能力が十分に備わっていないこともあります。体や行動の不調が「疲れのサイン」として現れてきます。

下のチェックリストに注意して定期的にお子さんの様子の変化を見てください。もしかすると「疲れのサイン」が出ているかもしれません。

大人のストレス

仕事	家事
人間関係	季節性

大人はストレスによる
疲れを『自覚できる』

子どものストレス

学校	勉強
友達関係	季節性

子どもはストレスによる
疲れを『自覚できない』

ストレスによる疲れへの対処

ストレスによる「疲れのサイン」

ストレスによる「疲れのサイン」チェックリスト

右のチェックリストは、体や行動の不調として現れる「疲れのサイン」の一例です。

「疲れのサイン」に気づいた場合は、無理をせずにゆったりと過ごすことが大切です。早く寝たり、好きな遊びを楽しんだりすることはもちろん、大人の方が話をゆっくり聞いてあげることもストレスの解消法として有効です。ゆとりを持った生活を心がけましょう。

- 頭が痛い
- 発熱(熱っぽい)
- 腹痛・下痢
- 気持ち悪い・貧血
- 食欲がない・食べ過ぎる
- 眠れない・眠りすぎる
- よく泣く
- イライラする

- 体がだるい
- おねしょ
- 爪噛み
- 歯ぎしり
- ハイテンション
- 甘えが強くなる
- 集中できない・やる気が出ない
- 落ち着きがない

いつでも相談をお受けしています。

学校教育支援センター教育相談室〔電話 5998-0091〕
学校教育支援センター閑〔電話 3928-7200〕

学校教育支援センター練馬〔電話 3991-3666〕
学校教育支援センター大泉〔電話 6385-4681〕

※祝休日を除く月曜日から土曜日
午前 9時～午後 5時 (金曜日は午後 6時まで)

北町はるのひ児童館がオープン!!



北町はるのひ児童館は、春日町児童館が移転し、北保健相談所や街どきケアカフェなどが入った複合施設の3階に、令和3年3月末にオープンしました。乳幼児親子、小学生、中高生が気軽に利用でき、地域の子育て支援の拠点となる施設です。

【施設の特色】

①キッズスペース・ラウンジ

木のたまごプールなどがあり、乳幼児が木のぬくもりを感じながら遊べるキッズスペースです。ラウンジは乳幼児保護者や中高生世代の交流の場として利用できます。

※ラウンジでは「Nerima Free Wi-Fi」が利用できます。

②遊戯室

天井の高い遊戯室では、バドミントンやボール遊び、ダンスの練習など身体を使って元気よく遊べます。練馬区の児童館では初めてとなる、クライミングウォールを楽しむこともできます。

③図書室

幼児から高校生向けまで、幅広い種類の本を揃えています。中高生が落ち着いて読書や学習に集中できる個別の学習スペースもあります。

④音楽室

音楽スタジオのような防音の音楽室があります。ギターやピアノ、ドラムなどを使ってバンド練習をすることもできます。

【施設情報】

○所在地：練馬区北町6丁目35番7号

電話番号：3933-5100

○開館時間：午前10時～午後6時

※中高生タイムは水曜・土曜の午後5時～午後7時

※土曜日、学校休業期間(夏休み・冬休み・春休み)、

都民の日は午前9時～午後6時

○休館日：日曜、祝休日、年末年始

【案内図】



【問合せ】子育て支援課 子ども育成係(電話5984-5827)

新たに「北町カトリック幼稚園」を練馬こども園に認定

区は、全国に先駆け、長時間の預かり保育などを行う私立幼稚園を「練馬こども園」として独自に認定しています。お子さんの教育や保育について選択の幅が広がり、共働き家庭からも利用されています。

新たに「北町カトリック幼稚園」を練馬こども園に認定しました。申込方法など詳しくは、北町カトリック幼稚園へお問い合わせください。



幼稚園名(所在地)	電話番号	対象	預かり保育時間	定員
北町カトリック幼稚園(北町3-16-1)	3931-1661	3～5歳	8:30～18:00	15名

*練馬こども園一覧 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyouiku/yochien/nerimakodomoen.html>

練馬こども園の特徴

- 夏・冬・春休みを含め、1日 9～11 時間預かります。
- 各私立幼稚園の特色を生かした教育を実施します。



【問合せ】こども施策企画課 こども施策担当係(電話5984-1522)

コロナ禍での「とも育て」

～「おおきくなったね作品展」を通して～

春日町保育園の取組をご紹介します

春日町保育園では、例年2月に生活発表会を行っていました。しかし令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言発出中のため、発表会を中止し、「作品展」を開催することにしました。「コロナ禍だからできない」ではなく、「ウイルスと共に存しながらできること」を考え、例年とは違った形の表現活動を楽しみ、一年間の子供たちの成長を保護者の皆様と共に楽しむことができました。これからも、「毎日楽しく登園できる保育園」を目指し、日々工夫しながら保育をしていきます。

*保護者の感想と共にご覧ください。

*とも育てとは…保護者と保育所職員、共同で園児を見守り育していく取組み。



「先生方のアイデアで、親子共々楽しめるものを考えていただき、ありがとうございました。」



「何重にも巻き付けたゴムをはずすのが大変だったよ。」



「『おおきくなったね会』(発表会)の中止は残念でしたが、我が子が自分の作品はもちろん、お友だちの作品も全部案内し、説明してくれ、とても楽しそうでした。そんな姿を見てこちらも嬉しくなりました。」



「展示の仕方もとてもきれいで、まるで美術館のようでした。お迎えの時間も楽しい時間になりました。」



「“はりぼで”は、半分は鬼のお面に。もう半分がこの気球の作品になったよ。」

【問合せ】保育課 管理係(電話5984-5839)

令和2年度 練馬区立学校(園)の研究発表

教育委員会では、区立幼稚園、小中学校、小中一貫教育校の中から毎年15校(園)程度を「教育課題研究指定校」等として指定し、幼児・児童・生徒の学力や体力の向上、心の教育の充実などの教育課題に関する研究を推進しています。令和2年度の指定校(園)の中から、4校(園)の取組を紹介します。

富士見台小学校 (令和3年1月22日発表)

教科等横断的な視点に立った
カリキュラムの創造・実践

研究の取組

児童の思考力を教科等横断的に育成するカリキュラム開発と実践に取り組みました。

研究の成果

学んだことを他の場面でも使おうとする児童の意欲が高まり、学びの広がりが見られました。



開進第四中学校 (令和2年11月11日発表)

自助の能力と共に精神を高め、
大災害を乗り越える防災教育
～カリキュラム・マネジメントの実現による
地域連携と教科等横断的な防災教育の実践～

研究の取組

地域と連携した防災訓練の実施や防災教育の視点から教科等横断的な指導を研究しました。

研究の成果

災害時に自助・共助の精神のもと行動しようとという実践的な態度を身に付けることができました。



上石神井北小学校 (令和2年11月13日発表)

数学的な見方・考え方を育む指導の工夫
～個に応じた指導の工夫～

研究の取組

児童の学習状況の把握、教材・教具の工夫等をとおして数学的な見方・考え方を育みました。

研究の成果

児童は、楽しく算数を学習するようになり、児童の数の見方や考え方方が広がりました。



光が丘むらさき幼稚園 (令和2年11月18日発表)

頭も心も体も動かして
夢中になって遊び込む児童の育成
～あきらめない心を支える教師の援助と環境の工夫～

研究の取組

児童一人一人が様々なことにあきらめずに取り組めるよう、援助の方法等を研究しました。

研究の成果

個に応じた援助により、児童が互いに刺激し合うことで、あきらめず取り組む姿が増えました。



【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

※各催しは中止もしくは延期になる場合があります。

練馬区立図書館ホームページ等をご確認のうえお越しください。また、マスクの着用をお願いします。

当日は、検温を実施します。体温と健康状態によっては、参加できないこともありますので、ご了承ください。

[こどもの読書週間 練馬区立図書館の催し](一例)

- 光が丘図書館 展示:「みんなの好きな本と図書館からのおすすめ本」
期間:4月27日(火)～5月9日(日)
昨年の秋に募集したみんなの好きな本と図書館からのおすすめの本を展示します。
- 練馬図書館 展示:「図書館員が選んだおすすめの本」
期間:4月27日(火)～5月23日(日)
図書館員がおすすめする本の展示をします。
この他にも、さまざまな催しを開催しています。ぜひ図書館にお越しください。

【練馬区立図書館ホームページアドレス】
<https://www.lib.nerima.tokyo.jp/index.html>

QRコードはこちら→



いっしょによもう、いっぱいよもう (2021年こどもの読書週間 標語)

さあ、みんなで図書館へ行こう!

「4/23は子ども読書の日、4/23～5/12はこどもの読書週間」

練馬区立図書館では、各館で、「子ども読書の日」と「こどもの読書週間」の記念事業として、楽しい催しやおはなしの会等をたくさん開催しています。ぜひ図書館にお越しください。詳しくは、図書館ホームページをご覧のうえ、各館にお問い合わせください。

【問合せ】光が丘図書館 子供事業統括係(電話5383-6500)

令和3年度の教育関連予算の主な事業を紹介します

保育サービスの充実(9億8,884万円)

- ①私立認可保育所を8か所整備(370人の定員拡大)
- ②障害児保育の充実
 - ・私立認可保育所への障害児保育巡回指導の実施
 - ・地域型保育施設に区独自の障害児受入加算を設置
 - ・私立認可保育所への障害児の就学相談事業の実施
 - ・医療的ケア児への訪問看護委託事業の実施
- ③区立保育園におけるICT化の推進

小学生の放課後等居場所の充実(21億3,689万円)

- ①ねりっこクラブ実施校の拡大(新たに10校開設)
- ②新たな待機児童対策「ねりっこプラス(※)」の開始
 - (※)学童クラブの待機児童を対象に、ひろば事業終了後のひろば室を活用して、学童クラブに準ずる保育機能を持った安全な居場所を確保するもの
- ③夏休み居場所づくり事業の継続
 - ・新たに4校(計9校)での実施を目指す

夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成(76億7,656万円)

- ①ICTを活用したきめ細かな学びの推進
 - ・(仮称)ICT実践事例集の作成
 - ・ICT支援員の増員(14人から28人に増員)
- ②不登校児童生徒への支援の充実
 - ・適応指導教室を開設(区内2か所目)
 - ・不登校実態調査の実施
- ③校舎等の改築および体育館の空調整備
 - ・小中学校校舎等の改築(工事5校・設計2校)
 - ・体育館の空調整備(小学校8校、中学校3校)
- ④学校現場への支援の充実
 - ・スクール・ロイヤー制度(※)の導入
 - (※)教育や子どもの人権問題等に精通する弁護士が学校における法律相談・助言や研修を実施
 - ・教職員出退勤管理システムの稼働

【問合せ】教育総務課 庶務係(電話5984-5609)

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしておりますので、下記のホームページアドレス、またはQRコードからアクセスし、「教育だよりのご感想・ご要望はこちちら」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

教育総務課 庶務係 <教育だより ホームページアドレス>
<<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyokudayori.html>>

